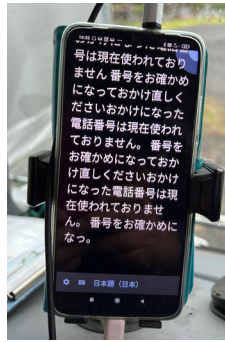


手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例を生かして 2つの提案



聴覚障がい者の家庭電話やスマホに音声・文字変換ソフトを設置するための補助を

聴覚障がい者の人が家庭電話やスマホに、音声・文字変換機を設置する場合に補助を、という声が寄せられました。山岡議員は手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例をもとに、「聴覚障がい者のみの世帯であれば可能で

加齢性難聴に伴う補聴器購入に補助を

山岡議員は、手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例を生かして、加齢性難聴に伴う補聴器購入に補助を求めました。市は「国に於いて」と従来通りの答弁でしたが、再質問

したが、健常者と同居なら対象外というのは条例に反すること、改善を」と求めました。これに対し「聴覚障がい者の日常コミュニケーションにおいて重要な機器も対象にすべき」と求めました。

なもの。条例の趣旨に照らして、健常者が同居する場合においても、一定の所得要件を満たした場合は、給付対象とするとする要綱の改正を、本年4月から行った」ことを明らかにしました。山岡議員は、スマホ等の機器も対象にすべき」と求めました。



今年も原水爆禁止国民平和大行進が6月17日、甲賀・湖南地域を行進しました。議員団揃って参加。

安全対策を 駐車場でよく見かける「車止め」



けつまずいて骨折した...

上写真は、障害者や高齢者等の駐車スペースですが、ここでも「車止めブロック」は、黄色のペンキなど塗っていないために、わかりずらく、つまづくリスクがあります。



上写真は最近設置された「車止め」。目立つように黄色のペンキや反射板が設けられています。

駐車場でよく見かける「車止め」は、黄色のペンキが塗られたり、反射板や蛍光塗料が塗られているものもあります。

話を聞きました。このパーキングブロックは、いわゆる「基準」がないためにさまざまです。最近では、写真下のように、目立つように黄色のペンキが塗られたり、反

射板や蛍光塗料が塗られているものもあります。怪我のリスクを極力抑えるために、市内公共施設の駐車場内に設置されている「車止め」の点検と

安全対策を講じる必要があるのではないのでしょうか。山岡議員が一般質問で提案したら、「利用者の安全に配慮した措置を検討する」と約束しました。

駐車場でよく見かける「車止め」ブロック

甲賀広域行政組合 甲賀消防本部

コロナワクチン未接種の消防隊員を「拒否者」として事実上「隔離」

甲賀広域行政組合消防本部内で、新型コロナウイルス接種を受けなかった消防隊員に対して「ワクチン接種拒否者」として全職員に文書を配布し、廊下脇にある「協議スペース」で執務をさせるなど事実上「隔離」状態にしていたことが五月末に明らかになり、波紋を広げています。今回の問題は、明らかに人権侵害です。甲賀広域行政組合議会議員でもある山岡議員は、再発防止のためにも、なぜこういう事態になったのかなど、引き続き求めていくことにします。

●：警防課に勤務していた職員は、過去に季節性インフルエンザワクチンで副反応が出たことを理由に、インフルエンザワクチン接種の案内があった時、接種しませんでした。

●：新型コロナウイルス接種は任意なので、仮に接種しないという申出があっても問題ありませんし、国もそのことをもって差別してはならないと指導しています。

●：ところが甲賀消防本部では「接種拒否者」とする文書を全職員に配布。廊下脇にある「協議スペース」で業務をするように指示、来庁者・部外者との接触制限を求めました。

●：消防本部は「感染リスクの低減を図る目的」からの対応であったと文書で説明していますが、その一方で、コロナ罹患者を別の医療機関に転院させるための移送に従事させていたことも、その後明らかになっていきます。